

C 建設候補地及びこれまでの事業推進の経緯に関するもの

1 寄せられたご意見

受付 No.	ご意見
10	1.候補地から現公民館・旧町体育館の跡地がはずれた経緯が不明です。 2.有力候補地が嘉平山と伺いましたがなぜ市内から国道7号線を越えていく、徒歩圏外とするのか疑問です。 3.中条中学校の脇に中学生も校舎の一部として利用できる情報センター及び図書館を設置すれば学習効果・情操教育としても絶大と考えます。 4.高齢化率の高い地域で健康な足腰を維持し、公民館活動に今後も参加する為にも公共交通機関を頼らずに自ら歩いて行ける生涯学習センターは、人生の友として活用できると考えます。 以上の点からも現公民館・町体の跡地を推めます。 他、災害時の避難所としても市中心部の人々は移動がしやすい。いつどこで何が起きるかわからない時代です。市内中心部の人は容易に山へは行けないと思います。

2 回答

【建設候補地について】 ※再掲

胎内市生涯学習施設整備基本構想の策定にあたっては、当時の検討委員会やワークショップを通じて、市民代表の皆様からいただいたご意見を踏まえ、図書館や公民館の機能に加え、多世代や子育て世代の全市民を対象とする施設として検討を進めてきております。

建設候補地につきましては、駅周辺や旧中条体育館跡地といった案も挙がりましたが、たとえば駅周辺は敷地の広さを含め、適切な土地の確保が難しいこと、また旧中条町体育館跡地は今後の統合中学校の建設候補地としても検討されていることなどから、様々な条件を総合的に勘案し、現時点では関沢地内（通称：嘉平山）をあくまでも予定地ではなく、有力候補地として挙げているところです。※基本計画（案）18頁、「5 建設候補地」参照

建設候補地に関しては、市民の皆様からいただいた多様なご意見を今後も丁寧に受け止めながら、専門的な知見も踏まえて、できる限り多くの皆様にご利用いただけるよう、望ましい方向性を見出してまいります。

なお、今後、市民説明会を開催し、市民の皆様からの様々なご意見に耳を傾けながら多様な意見を望ましい方向に集約すべく、市に対して答申を行っていただく組織を立ち上げる予定としております。

【徒歩で行ける場所について】 ※再掲

生涯学習施設は地区住民に限らず、市内全域の市民の皆様にご利用いただくことを前提としております。全ての地域から徒歩でお越しいただけるわけではありませんが、できる限り多くの方がアクセスしやすい立地となるよう検討を進めてまいります。

また、「のれんす号」の活用に加え、定期バスの運行についても検討してまいりたいと考えております。

なお、生涯学習施設は市民全体の施設として位置づけておりますが、現在の図書館と中央公民館は、これまで主たる利用の実相としては、中条地区の皆様の一施設としての役割を果たしてきたものと受け止めており、中条地区においても、乙、築地、黒川地区の地区公民館等と同様に、図書室を併設した公民館的な機能については、既存施設の活用等を含め、その機能を維持していくことを基本方針としております。

【これまでの経緯について】

これまで協議を行ってきた過程において、あくまでも建設候補地としたものが、断片的な新聞報道の影響もあり、あたかも決定事項であるかのように漠然としたイメージで受け止められた方もいらっしゃる状況にあると認識しております。

その様なことにも留意しつつ、今後は、市民の皆様にご誤解を与えないよう、丁寧な説明と情報発信に努めてまいります。

【その他ご意見について】 ※再掲

その他いただいた貴重なご意見は、今後の検討や運営の参考とさせていただきます。